

下水処理のしくみ

水処理システム



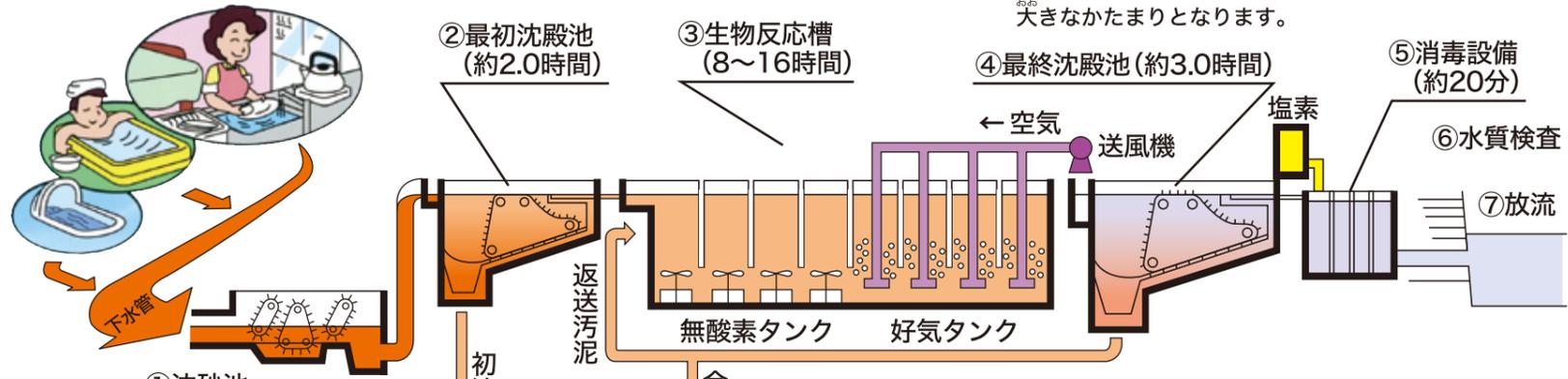
①沈砂池
下水管を通ってきた下水は、まず、沈砂池にはいり、下水に含まれている大きなゴミや砂を取り除きます。

②最初沈殿池
この池をゆっくりと流れていくあいだに、沈砂池で沈まなかった小さなゴミや砂は、底に沈んでゆきます。

③生物反応槽
バクテリアや原生動物のような微生物の集まりを活性汚泥といい、生物反応槽の中で下水に活性汚泥を混ぜて、空気をふきこみます。すると、微生物は、ふきこんだ空気中の酸素の助けをかりてどんどん汚れを食べてゆき、しだいに、大きなかたまりとなります。

④最終沈殿池
下水の中のよごれをたくさん食べて大きく、重くなった微生物(活性汚泥)は、この池の底に沈みます。きれいになったうわ水は消毒設備におくります。

⑤消毒設備
きれいになった水は、消毒して無害な水にしてから釣川に放流します。



⑥水質検査
処理された水が、きれいになったまいにちすいしつけんさか毎日水質検査して監視します。

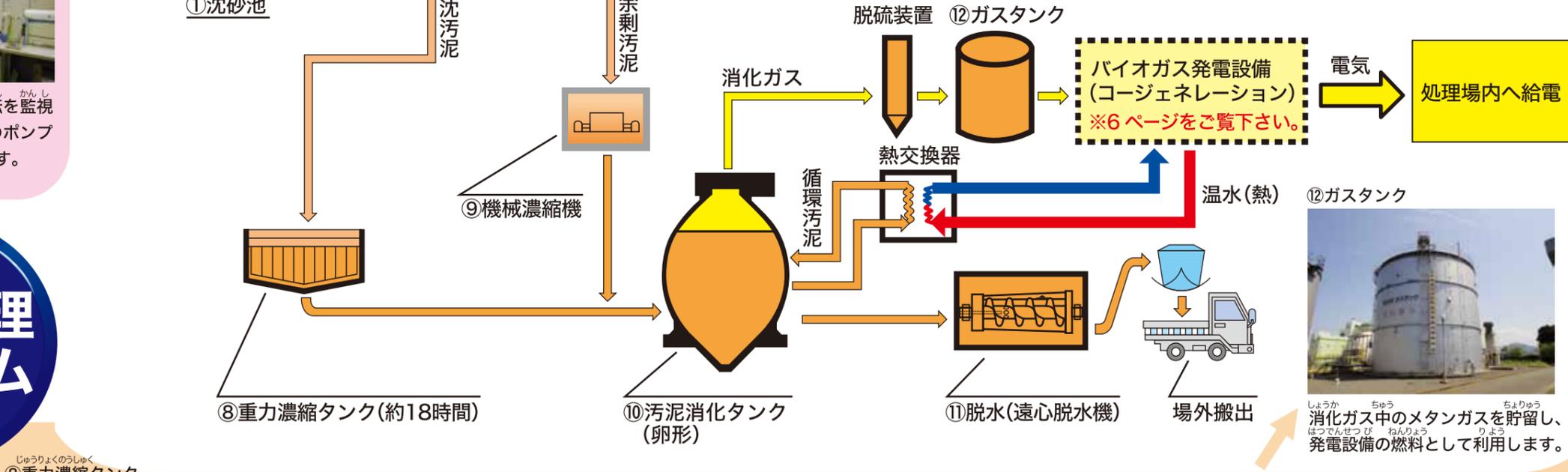


⑦放流
処理された水が、きれいになったまいにちすいしつけんさか毎日水質検査して監視します。

ちゅうおうかんしつ 中央監視室

しゅりせつ いっかつ うんてん かんし 処理施設を一括して、運転を監視しています。処理区域内のポンプ場の異常も監視しています。

汚泥処理システム



⑧重力濃縮タンク
最初沈殿池で発生した初沈汚泥を自然の重力を利用して濃縮し、消化タンクへ送ります。

⑨機械濃縮機
最終沈殿池で発生した余剰汚泥を高速回転させて濃縮し、消化タンクへ送ります。

⑩汚泥消化タンク (卵形)
嫌気性微生物のはたらきで濃縮汚泥中の有機物を分解させ、消化ガスを発生させます。分解された汚泥は消化汚泥といい、脱水機に送ります。

⑪脱水
消化汚泥中の水分をしぼりとり、やわらかい土にします。このやわらかい土を脱水ケーキといい、宗像清掃工場(エコパーク)で家庭ごみといっしょに焼却処分します。